



社会福祉法人巣立福祉会 すだつ保育園 発行：松田



1. 誕生児紹介
2. クラスだより（1，3，5歳児）
3. 保健だより
4. 食育だより
5. 地域子育てセンター すだっちだより



りすぐみだより

発行：外間

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。もう季節はすっかり冬ですね。寒さに負けず思い切り体を動かすことを楽しんでいる子どもたちを見ていると、たくましさを感じます。

子どもたちそれぞれが、自分のペースで大きくたくましく成長してきた一年を振り返るこの頃。今年度も残すところ3か月。1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



～制作遊び～

クリスマスや壁面、おゆうぎ会のお面と制作活動を楽しんでいる子どもたち。色に興味を持ち保育者が「これ何色？」の問いかけに「あか！あお！」と元気に答えたり「〇〇色が好き。」と自分の好きな色を教えてくださいます。

クリスマス制作では、ツリーやブーツ型に切った画用紙にシール貼りをしました。小さな丸形のシールははがすのが難しく、さらにはがした後に指にくっついてしまったりして苦戦する姿も見られましたが、遊びを通して指先の使い方を学んできた子どもたち。一度成功すると自信がつき何枚も集中して取り組んでいました。壁面制作ではひよこ組さんと合同で門横の1月の掲示板の担当をしています。子どもたちの可愛い手形や足形が何かになりますよ～絵具を使っての手形足形とり。筆で手足に色付けをしていくと「くすぐったーい」と・・・それでも、出来上がった自分の手形足形を見て「これ、〇〇の手？足？」と確認し、自分の手足と見比べ嬉しそうにしていました。



～冬野菜～



食育活動の一つ、冬野菜の植え付けをしました。今年度、りす組は「レタス」を育てていきます。用務の新城さんにも協力してもらい畑作りから。「レタスさんに柔らかいお布団で大きくなってもらおうね。」と声をかけながら畑を耕し、レタスの小さな種を少しづつ畑に蒔きました。子どもたちに小さな種を見せながら「この種が、こうなるよ。」とレタスの写真を見せるとニコニコしながら「早く食べたいね。」と興味津々な様子。

給食では、園の畑で採れた野菜が提供されると「苦手だけど食べてみようかな」という気持ちになっています。そんなくり返しで好き嫌いが減り、食べられる量も増えてきています。これから自分たちで野菜をお世話する機会をつくり、収穫していただく喜びを感じられるようにしていきたいと思っています。

～次の遊びに期待を持ち自分で！～

身の回りのことに興味を持ち、何でも自分でやろうと一生懸命な子どもたち。昼食後の着替えでは、自分で脱いで自分で着る、脱いだ洋服はビニールへ入れる。を保育者と一緒に行っています。「汚れていたら洗うよ。」と声をかけると「これは？」と保育者へ確認し、おしっこを漏らしていると「洗ってちょうだい。」と持ってきています。

また、次の見通しが持てるようになり、「着替えたあとはあのおもちゃで遊びたい！」という気持ちから、以前よりも着替えの時間が短くなっています。一番に着替え終わった子が遊び始めると、ほかの子も「わたしも！」とスピードアップ。そんな姿に心の成長と頼もしさを感じている担任です。





きりんだより



発行：又吉

早いもので、きりん組で過ごすのも残り3カ月となりました。これまで、行事やいろいろなことを経験しながら子ども達の成長が見られ、嬉しく思います。進級に向けて子ども達の成長を温かく見守り、一日一日を大切に楽しく過ごしていきたいと思います。年末年始の長いお休みで、お出かけする機会も増えることと思います。寒暖差もある中ですが体調を管理し、親子で楽しい時間を過ごし年明けには元気に登園しましょう。

異年齢の関わり体験を通して4・5歳児への憧れへ

4歳児さんが三輪車レースに参加するというので、三輪車レースの練習を見学し応援しました。応援する中で、「ぞう組さんになったら三輪車レースにでるんだよ」と、友達同士で会話が弾み、やりたい意欲から三輪車で競争を楽しんでいます。また、おゆうぎ会の練習では、楽器遊びや、堂々とした表現あそびを見学することなどで4・5歳児クラスへの憧れの気持ちが芽生え、クラスの表現あそびへの意欲や、遊びの広がりが見られるようになってきました。これからも異年齢と関わるような活動を楽しんでいくことから、進級への期待が持てるような環境を考え意欲を育んでいきたいです。

廃材制材、クリスマス制作から見えたお箸？

廃材制作では自分のイメージを形にしながら皆で進めていきましたが、クリスマス制作では、折り紙や紐通し、クレヨンで自分の世界を描き個々の作品を仕上げていきました。個人差の中で要領を掴んだ子が“こうしてやるんだよ”と教え合い、“上手だね”“どうやって作ったの？”など、おたがいの作品に関心を持ち、仕上げていく姿も見られるようになってきました。子ども達が苦戦していた紐通しは指先の使い方、指の力をつけることで遊びの中でも大切な活動の一つとして取り組んでいます。改めて指先を使った遊びの必要性を感じました。これからも指先を使った遊びをどんどん取り入れ、正しいお箸の持ち方に繋げていきたいです。



植(しょく): 植える

・すだつ子ファームの人参の種まきの後、人参の双葉が芽を出しましたが、草と双葉の見分けがつかず、双葉を見つけ、“草抜きしよう！”の声に慌てた保育者。どれが人参の葉っぱなのか？草と双葉の違いを観察していきながら小さな本葉が出ると、“人参みつけた！！”とその見分けができるようになり、気づきに感動！又“スナッパエンドウには花が咲き、小さなさやも見られるようになりました。収穫を楽しみに水かけも、“やる気満々”と言いながら当番活動でのお世話も楽しんでいます。

冬野菜で

=3つのしょく=



食(しょく): 食べる

・これまで給食の食材に提供されていた園長先生のパパイヤを使った“パパイヤチャンプルー”が、お散歩の翌日の給食のメニューに出ました。チャンプルーの中からパパイヤ探しが始まり、苦手意識を持っていた子も完食！！実際に食材に触れたことで食欲に繋っていく事を実感しました。ご家庭でも、親子で一緒にお買い物にいく事で食材への興味、関心から食欲の高まりに繋がると良いですね。

触(しょく): 触れる

・園長先生の畑を散策し、パパイヤやスターフルーツ、パイナップルと、次々に大発見！パパイヤは“つめた〜い、いい気持ち”と手に取ったり、又、パイナップルの葉に“トゲトゲがあるからあぶないよ！”と、恐るおそる触れたり、子ども同士で扱いを研究？。子どもの発見、言葉や行動にほほえましい光景がいっぱいでした。

おとうばん

いただきます



当番活動：新しくなったグループでの当番活動がはじまりました。給食の配膳、ご挨拶、冬野菜の水かけ当番と、“昨日は〇〇グループだったから今日は、”とお互いで声を掛け合い楽しみながら活動を進めています。出来ることが一つ一つ増え、相談していく事で友だちとの関わりも深まり、みんなで出来た達成感から一人ひとりの自信になり、たくましさも見られるようになってきました。これからも集団の中での関わりから一人ひとりの成長を見守っていききたいと思います。





「心に思っていることや考えたことが口から出てくるんだよ、だから大切にしようね」と日頃子供たちに話していますが子ども達の話に耳を傾けていたかな等、自問自答することもあります。そんな時は「ねえねえ、きのう何食べたの？何して遊んだの」などたわいもない話から子ども達とユンタクするようにし、（心の声）を聴くように努め、話をするようにしています。嬉しそうにまた得意そうに話してくれ、子ども達は誰もが（話を聞いてもらいたい）存在、少しの時間でも大切に・・・と思う今日この頃です。ご家庭ではいかがでしょうか。子どもと向き合う時間は大人が作っていけるものですね。今後も家庭、園と協力して子ども達を見守っていきましょう。

友達と一緒に遊び、創る



運動会後から友達を誘って集団で一緒に遊ぶ姿が増えました。バトンタッチリレー、バスケットでチームで対戦、サッカー、うんていでおさるじゃんけんをしてのびのびと体を動かして遊んでいます。また竹馬や長縄跳びでチャレンジする遊びも、友達に教えてもらいながら次第にできた喜びを味わっています。ゲームの遊びの中で「はさみうちはないほうがいいんじゃない」など友達とルールを考え、不都合があれば次はこうしようと修正し、やり取りしている姿があり、遊びの中で自分を律したり、相手と折り合いをつけるなど集団遊びで社会性を身につけている様子が見られます。

楽器遊びや表現遊びも友達とイメージを共有し、役を交代して行うなど自ら取り組んでいます。欠席した友達の役も「〇〇がやるよ」と役割を担ったり、日常の中で友だちと一緒に協力して進めていく姿が増えています。

お約束「火の用心！」



火遊びは絶対にしません

11月7日、消防署での「名護市幼年消防クラブ防火研修」に参加しました。「幼児期から火に対する正しい知識を理解させるとともに、消防に対する認識を深める」という目的のもと、放水見学、消火訓練、防火DVD視聴等、見学や体験をすることができました。消防隊員の展示訓練では、ロープを使って壁を駆け下りる姿に、皆の視線は釘付け...一瞬にして憧れのまなざしになっていました！煙訓練では視界が悪く姿勢を低くして進むことが難しかったのですが、「アヒル歩き」で前進して頑張っていました。日頃は近くで見ることができない消防車をバックに防火服に着替え、笑顔でポーズをとり、降園後も興奮冷めやらず、年下の子に「消防署行ってきたよ！」と声をかけていました。

ぱんだ組の幼年消防隊員さん、これからも「お約束」を守って過ごそうね！

収穫・栽培活動

園外ならではの体験ができたよ



収穫の秋を迎え、稲刈りへ行きました。今回は園バスで途中下車し、羽地地域を散策しながら田んぼへと向かいました。途中、出会った方に「向こうの川にウナギがいるよ」と教えてもらい自然物に驚いたり、看板や標識を見て「30って書いてるけどどうしてかな」と保育者が問うと「車のスピードってお父さんが言った」と話していたり園外ならではの気づきが多くありました。田んぼでは保育者と一緒に約束を守ってカマを使い、収穫体験をすることが出来、稲穂を運んで満足そうな子ども達でした。後日、脱穀をし、精米の準備をしています。前回、出来立てのご飯をビニール袋に入れて「ぶんぶんおにぎり」にしていたので、今回もおにぎり作りを楽しみにしているようです。

すだつっこファームでは冬野菜の種まき、苗の植え付けをしました。皆で作った野菜で「カレーパーティー」をしたい！ということで、ぱんだ組の畑は、人参、玉ねぎ、じゃが芋の「カレー畑」の出来上がり！「おおきなあれ」と毎朝、水かけをしながら生長を見守っています。

初めてのみそ作り体験



栄養士の職員と一緒に初めてのみそ作り体験をしました。事前に味噌が何からできているのか、「麹菌」「発酵」についてもお話を聞き、「こうじ、お家にあるよ」「納豆菌がいたら麹菌は負けるよ」と知っている事や本で読んだことを思い出して話をしている子もいて関心を持っていました。当日は、豆をつぶしたり、においをかいで五感で感じながら作ることが出来、「見た目は変だけど面白い」「パンみたいなにおいがする」など感想を話していました。後日、ヨーグルトメーカーで発酵し、出来上がった手作り味噌が「アンダーみそ」として給食メニューに登場、「おいしい、おかわりしたい～」と好評でした。

お世話当番

食後にグループで1、2歳児クラスへ行き、寝かしつけのお世話をしています。「今日は〇〇寝かせてきたー」と嬉しそうに話をしてくれます。子ども達の姿からお世話当番を通して任せてもらった自信や思いやりの心が育っていることを感じています。



ほけんだより

発行: 山川



2024年も残すところあと数日となりました。年末年始は大掃除に帰省、旅行、お参りなどとおあわただしいものですが、生活リズムに気をつけて元気に新年を迎えましょう。



かわいい名前でも油断しないで りんご病(伝染性紅斑)

先月後半より、園内でりんご病の感染が確認されています。原因ウイルスに感染すると、両方の頬に赤い発疹が出る様子から「りんご病」と呼ばれます。頬が腫れる前に何も症状がないか、熱やだるさなどの軽い風邪の症状がでます。感染が疑われた際は医療機関を受診し、医師の診断の下、登園をお願いします。

* 登園の際は保護者記入の登園届の提出が必要となります。

●大人のほうが重症化する

子どもには軽い病気ですが、大人がかかると頭痛や強い関節痛を起こしたり、重い合併症を起こしたりすることがあります。また、妊娠中にりんご病に感染すると、おなかの赤ちゃんに影響が及ぶことがあります。

●普段から手洗いをしましょう

りんご病は、頬が腫れる前の時期に感染力があり、頬が腫れてりんご病だとわかるころにはもう人にうつすことはありません。そのため予防が難しいので、日頃からこまめに手を洗って、ウイルスを持ち込まないことが大切です。園でも感染対策や予防に努め対応しています。



県内で 百日咳 が増加傾向にあります

百日咳とは...

最初の症状は咳や鼻水などの風邪の症状です。熱は微熱か、出ない場合が大半です。その後、特徴のある咳発作がみられるようになります。短い咳が連続的に起こり(スタッカート)、続いて息を吸う際にヒューという笛のような音の出る発作(ウープ)が繰り返されます。激しい発作は2~3週間続き、回復までに2~3か月かかります。

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化、あるいは命にかかわることもあります。感染対策には五種(四種)混合ワクチンの接種が非常に重要となります。ワクチン未接種の場合は早めに受けるようにしましょう。



感染予防のために...

- 咳が出るときはマスクをする
- こまめに手を洗う
- 咳が続くときは受診する

咳エチケットを守りましょう

鼻や口を覆わずに咳やくしゃみをする、ウイルスの飛沫を拡散させることになります。マスクをしていないときはハンカチやティッシュペーパー、何もなければ袖で口元を覆いましょう。



1月 食育だより

発行：名嘉真

師走の忙しい季節となりましたが、今年度もあとわずかとなりました。寒さも厳しく体調も崩しやすい月です。この時季は寒さから体力を奪われ乾燥していることから風邪を引きやすいです。生活リズムや食生活を改めて整え寒さや風邪に負けないよう元気よく新年をスタートさせましょう！

七草がゆ

七草とは、せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろのこと

七草がゆを食べる1月7日は、五節句の一つである「人日の節句」です。この慣習は江戸時代に広まり、日本の食文化として定着しました。七草は早春に芽吹くことから邪気を払うといわれ、新しい年の無病息災を願って食べます。また正月のごちそうに疲れた胃腸をいたわり、冬場に不足しがちな青菜の栄養を補給することができる素晴らしい行事食と言えます。



春の七草

冬の美味しい野菜NO.1



11月の種芋



12月の植え付け

ジャガイモを収穫したら、子どもたちに人気のポテトチップスや肉じゃが、カレー、様々な献立に活用していきます。子どもたちは、食べるのが待ち遠しく楽しみにしています。

今月の献立絵本



今回はお弁当の日が献立でした。親が作ってくれたお弁当をおいしそうに頬張っていました！

今月の誕生日ケーキ



贅沢にいちごを使用し、『いちごサンタ』を飾りました！クリスマスイメージしてケーキです。